

おおくぼ  
ファイト!



大窪小の情報満載!!  
【公式ホームページ】  
<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1215/>

学校だより

おおくぼ



日南市立大窪小学校 令和7年〔2025年〕2月 21日号



## 「地域の中の学校」

フリー参観日「大窪フェスタ」

大いに盛り上がりました◎



先日、フリー参観日が行われ、多くの方が参観されました。  
今回は、これまでの半生を生かし、誰でも気軽に参観できることを目指しました。  
先月、保護者の杉田さんが設置して下さった手すりのおかげで、階段の上り下りが改善されました。



さらに、玄関や体育館入口にも椅子を置き、靴の脱履や休憩しやすいようにしました。

子どもが地域を盛り上げ  
地域が子どもを盛り上げる  
ご協力ありがとうございました



体育館では、音楽発表〔合唱・合奏〕と体育発表〔個人と集団の縄跳び〕が行われました。たくさんの方の応援を受けて、いつも以上の成果を発揮した児童もいました。



教室では、総合的な学習の時間の発表が行われました。『日南市の素晴らしいさを感じよう「飢餓杉のひみつ」』と題し、これまで調べてきた飢餓杉について一人ずつ発表をしました。クイズもあり、参観された方々のリアクションで大いに盛り上がりしました。



〔2月23日時点〕

# 卒業式まであと30日！ 大窪小6年生3名特集



6年生3名〔高村 叶望さん、杉田 結愛さん、高村 叶夢さん〕の3学期の活躍を記事にしました。

## 高村 叶望さん

### 情報化社会を

### 生き抜くために

皆さんはニュースを見て、最近、何かに興味をもっていませんか。私はニュースを見たり日常生活を送ったりする中で、情報化社会について興味をもつようになり、情報化社会についてのメリットとデメリットについて考えました。

まず、メリットについてです。一つ目は、インターネットを利用することで、諸外国の方々と手軽にコミュニケーションを図ることができるといことです。インターネットを使用し、日本の人と外国の人がゲームをしたり会話をしたりしていました。このことによって、間接的ですが、仲が深まったように感じました。

2つ目は、AIによる自動運転化で利便性が良くなったことです。現在、コミュニティバスも自動運転になっています。高齢の方で運転ができない方にとっては、買い物に行くのに大変便利だそうです。

次にデメリットについてです。一つ目は、誰でもコミュニケーションが気軽に図られるために、犯罪に巻き込まれるリスクが高くなることです。以前、先生がチャットで知らない人とコミュニケーションをとり、犯罪に巻き込まれた動画を見せてくださいました。このことから、命に関わったり、永遠に記憶に残ったりする恐怖がある場合もあると思いました。

2つ目に、携帯電話の進化が早く、ついていけない人が沢山いるということです。ニュースで、高齢者の方が停電の時に、携帯電話を使用し災害情報を収集しようとしていましたが、使い方がわからず困っている場面を見ました。携帯電話は短期間で新しいバージョンに移り変わります。使用の仕方がどんどん複雑になり、更に不便になると考えます。

1月に行われた日南市新春子どもの声を聴く会で、大窪小代表として意見発表をした 高村 叶望さん。

### 【出発前】



在校児童・職員で叶望さんを見送り

### 【発表の様子】



小学校の部の1番目。落ち着いていました！

### 【表彰式】



私は、将来、やってみたい仕事が3つあります。看護師、介護士、保育士なのですが、その中で、一番に考えているのは「看護師」です。なぜ、この夢をもったかというところ、お母さんが看護師をしていて、人を助ける仕事にしたいと思ったからです。

## 夢に向かって

杉田 結愛さん

2025年〔令和7年〕1月。新年、3学期始まりに際し、これからの夢を語る、杉田 結愛さん。

タブレットを使って分かりやすく発表しました。

## 夢に向かって



6年 杉田 結愛



## 基本的な生活リズムを整え 3食きちんと食べること

看護師

= 患者さんの命を預かる責任重大な仕事

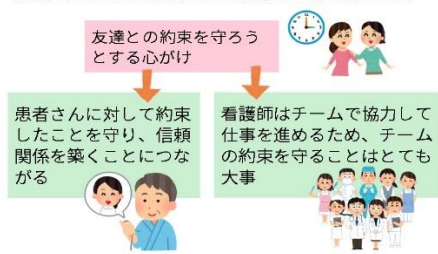
【求められるもの】

心身ともに健康で常にベストな状態にいること



えるためにはどうすればよいのか、看護師をしているお母さんに聞いてみました。お母さんはこう答えました。

## 友達との約束の時間を守ること



友達との約束を守ろうとする心がけは、患者さんに対して約束したことを守り、信頼関係を築くことにつながります。また、看護師はチームで協力し

まず、「基本的な生活リズムを整え、3食きちんと食べる」ことだそうです。看護師の仕事は、患者さんの命を預かる責任重大な仕事です。そのため、心身ともに健康で、常にベストな状態であることが求められます。

次に、「友達との約束の時間を守る」ことだそうです。

## 体を動かすこと

\* 患者さんを運ぶ  
\* 医療機器を動かすなど、**体力が必要**

体力がないと、集中力が長続きしない



看護師は、患者さんを運んだり、医療機器を動かしたりするなど、体力が必要で、また、体力がないと、集中力が長続きしません。

もちろん、今 習っている勉強もがんばらないといけないそうです。例えば、国語の勉強は、患者さんや病院のスタッフに正確な言葉で自分の考えを伝えたり、相手の話を理解したりするコミュニケーション

て仕事を進めるため、チームの約束を守ることはとても大事です。

他にも「体を動かすこと」も大切だそうです。

## 今、習っている勉強をがんばる

例えば…

【国語】患者さんや病院のスタッフに正確な言葉で自分の考えを伝えたり、相手の話を理解したりするコミュニケーション能力につながる

【算数】薬の量や、点滴の速などを正確に計算することにつながる



しかし……実際に看護師になったとしても**難しいことがたくさん**

\* 発達する医療に対し、多くの知識を取り入れたり、多くの技術を身につけたりしなければならない

介護士や保育士になったとしても**難しいことがたくさんある**

多くの知識を取り入れた発達する医療に対し、

しかし、実際に看護師になったとしても、難しいことがたくさんあります。

ン能力につながります。算数の勉強は、薬の量や、点滴の速などを正確に計算することにつながります。

【夢をかなえるために】

## 3学期の目標

- \* 今できることを一生懸命がんばる
- \* いろいろな人とコミュニケーションを図る

がんばりま〜す！

4月から、中学生です。夢の実現に近づけるよう、日々の生活を見直し、今できることを精一杯やっていきます。

介護士や保育士になったとしても、難しいことがたくさんあると思います。夢をかなえるために、3学期は、

- \* 今できることを一生懸命がんばること
- \* いろいろな人とコミュニケーションを図ることをがんばります。





上学年用

6年

名前 <sup>たかむら</sup> <sup>かなむ</sup>  
高村 叶夢 より

本の題名 <sup>(せんそう)</sup> 戦争をやめた人たち <sup>(しんせん)</sup> 1914年のクリスマス休戦



これは、実話(じつわ)の戦争(せんそう)物語(ものがたり)です。  
ドイツ軍(ぐん)とイギリス軍(ぐん)の最前戦(さいぜんせん)の夜(よる)に  
クリスマスの歌(うた)を歌(うた)っていました。その次(つぎ)の日(ひ)、戦争(せんそう)を  
しようとしたがドイツ軍(ぐん)は手(て)を上(あ)げイギリス軍(ぐん)の方(かた)へと  
行(い)きました。イギリス軍(ぐん)も同(おな)じように来(き)ました。そのとき相(あ)手(て)は  
大(お)切(き)な物(もの)があること(こと)にきづいたのです。その大(お)切(き)な物(もの)  
が「なに」なのか人(ひと)がえさ(えさ)せられるお話(はなし)です。せひよんで  
みてください。

## 高村 叶夢さん

絵を描くのが得意な叶夢さん。  
それを生かして、レポートやイラ  
スト、そして毛筆など、すばらしい  
作品を仕上げています。

叶夢さんの作品の中から、いく  
つか紹介します。

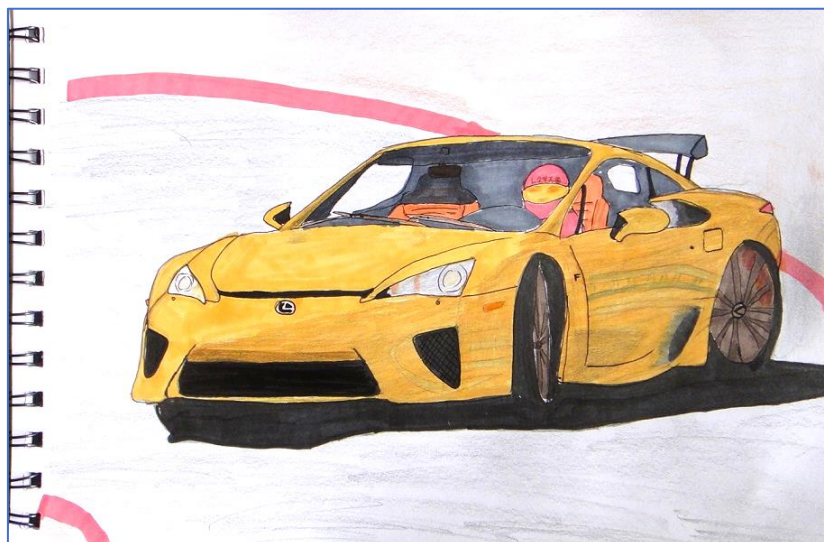
### 【スケッチブックから】



### 【スケッチブックから; その2】

六  
年  
高  
村  
叶  
夢

希望  
王



3名の6年生の卒業式は次の通りです。2年ぶりの卒業式です。

【令和6年度 大窪小学校卒業式】

令和7年3月25日(火) 午前9時40分 ~ 10時40分 大窪小体育館にて

# 本年度の学校評価を公表します

## 令和6年度 重点指導目標と具体的取組

【4段階評価】 4…期待以上(8割以上) 3…ほぼ期待どおり(5～8割未満)

2…やや期待を下回る(3～5割未満) 1…改善を要する(2割未満)

目指す 具体的な姿	評価指標	自己評価		学校関係者評価	
		評価	成果・課題等	評価	成果・課題等
確かな学力の定着 【基礎から応用まで、個に応じた力を身に付ける場】					
1 夢や希望に向かって努力し、意欲をもって学び続けようとする。	○ 個に応じた指導・助言・激励を徹底し、学びへの意欲を高め持続させることができたか。 ○ 全教育活動を横断的にとらえ、関連付けた指導を行うことにより、学ぶことの意義を感じさせることができたか。	3	理解に時間のかかる内容については、互いに話し合わせながら学びの意欲が持続するように配慮した。 校内配置の工夫による各教科指導を行い、各教科の基礎・基本が身に付くまでの見届けを行った。 一人一台端末環境を活用し、情報の収集や表現ツールとして児童に使用させた。また、デジタル教科書を教材作成や教授資料として利活用した。 本の紹介が随分と上手になってきた。授業で学習した内容と関連のある本を借りる児童が増えた。	3	標準学力検査 CRT の結果、国語科は昨年並み、算数科は大きく伸びているとのこと。複式指導解消のために、算数科の指導体制を見直して単式指導を行った成果が出ている。 国語科の力は他の活動にも繋がる。図書室増設をしたとのことで、読書推進も継続してほしい。
2 確実に身に付けなければならない各教科の基礎・基本を身に付け、学んだことを様々な面で生かすことができる。	○ 各教科の基礎・基本が身に付くまで見届けることができたか。 ○ 一人一台端末環境を前提としたICT・教育データを利活用することができたか。 ○ 読書及び作文指導を計画的・継続的に行うことができたか。				
豊かな心の育成 【コミュニケーション能力を育む場】					
1 しっかりとしたあいさつ・返事ができる。	○ 誰に対してもしっかりとしたあいさつや返事ができるように指導することができたか。	4	声量や声の張りにはやや課題があるものの、あいさつや返事は良くなっている。 本年度は子ども同士のトラブルが極めて少なかった。また、耳の不自由な方を講師として招聘したことで、よりよい対応の在り方や、思いやりの心を醸成する大変良い機会となった。 授業のみならず、掃除や昼休みなど、「伝えること」の機会を多くし、機会を捉えて指導を行った。 合同学習や集合学習を通じてコミュニケーションをはかる内容が充実し、子ども達も他の学校の児童とより多くコミュニケーションをとることができたと満足そうであった。	4	大窪フェスタでは、児童全員が協力して総合的な学習の時間の発表をしていた。協力して成し遂げたことが思い出に残るのではないだろうか。 お互いに仲良くすごし、生き生きとしている。少ない中でも、豊かな心が育っている。
2 自分も周囲の人も大切にすることができる。	○ 自分の良さに気付かせるとともに、思いやりをもって周囲の人に接することができるよう、道徳科や日常生活の中で継続的に指導を行うことができたか。				
3 先生や友だちの話をしっかりと聞いたり、自分の気持ちや考えを上手に伝えたりすることができる。	○ 児童が多様な考え方に触れたり、自分の考え方を表現したりするための機会を意図的に設定することができたか。 ○ 他校児童との交流学習等を通して、コミュニケーション能力を高めることができたか。				



## 令和6年度 重点指導目標と具体的取組

【4段階評価】 4…期待以上(8割以上) 3…ほぼ期待どおり(5～8割未満)

2…やや期待を下回る(3～5割未満) 1…改善を要する(2割未満)

目指す 具体的な姿	評価指標	自己評価		学校関係者評価	
		評価	成果・課題等	評価	成果・課題等
たくましい心と体づくり 【心身の健康を自ら安定させる力を育む場】					
1 自分の心と身体を健康な状態に保ち、たくましく学校生活を送ることができる。	<div>○ 心身の健康に関する授業等を計画的に実施するとともに、常時指導を行うことができたか。</div> <div>○ 児童の心身の状態を的確に把握し、家庭と連携を図りながら、少々の困難は自分の力で乗り越えることができるようになるための継続的指導を行うことができたか。</div>	4	心身の健康に関する内容について、給食時に Observe（観察）、Orient（方向づけ）、Decide（意思決定）、Act（行動）の OODA（ウーダ）ループにより効果的に指導することができた。また、本年度は保健学習に加えて児童が救急救命法や防災を学び、知識を広げた。 頭痛や腹痛に悩まされる児童に対して、家庭と連携を図りながら困難を乗り越える指導を行うことができた。	4	大窪フェスタの体育科発表を見て、体力がついてきていると感じる。今後の成長が楽しみである。 本年度はさまざまな災害が起きたが、さまざまな防災教育を充実したということで、生きていく力を高める上で大変良いよい取組である。
特別支援教育の充実 【特別支援教育の基本的な考え方の理解と取組】					
1 児童は一人ひとり異なる特性をもつことを理解したうえで、互いを尊重し、協力して全員にとって居心地の良い場所づくりをしようとする。	<div>○ 特別な支援を必要とする児童生徒の困り感を的確に把握することができたか。</div> <div>○ インクルーシブ教育システムの理念を理解し、具体的対応の在り方を検討することができたか。</div>	4	教員の望ましい関わりや言動によって、児童の特性や性格を周りの児童が理解し見守りや叱咤激励を行い、互いに尊重・協力して居心地の良い学校学級づくりに努めていた。インクルーシブ教育の理念そのものを実践することができた。	4	特別支援学級だけでなく、全校挙げて個性に応じた教育を展開している。その成果として、児童の笑顔あふれる学校になっている。
家庭・地域との連携の推進 【体験活動等を通して自然や社会から学ぶ場】					
1 伝統文化の継承に真剣に取り組む、ふるさとを誇りに思う心をもつことができる。	<div>○ 動きを覚えることにとどまらず、伝統的文化の概要や継承者の心情等を発達段階に応じて伝えることができたか。</div>	4	寺村剣棒踊り保存会による伝統的文化の継承を教育課程に取り込むとともに、寺村「お釈迦祭」や三世代交流事業等に参加し、地域の願いを汲み取ることで、伝統的文化について触れる機会を得た。 アクセス数が年間30万件の閲覧があり、児童の帰宅後の家庭会話や学校・学級通信による間接的なつながり、児童の送迎時等の会話による直接的なつながりにより、情報共有が図られている。	4	地域行事に積極的に参画し、意欲的である。地域行事や地域学習等を通して、大窪出身であるという誇りをもつのではないかな。 伝統を守り、学校の特長を生かした教育活動を続けてほしい。 南九州大学の学生との交流も大変意義がある。
2 教師と家庭が積極的に情報及び意見交換を行い、考えを共有することができる。	<div>○ 各種通信、学校ホームページを有効に活用することができたか。</div> <div>○ 学校運営協議会、参観日、学校保健委員会の充実を図るとともに、日頃から良いことも心配なことも保護者・地域と情報を交換し、意思の疎通を図ることができたか。</div>				